

1. 科目名 (単位数)	日本語学演習Ⅲ (談話) (2 単位)	3. 科目番号	EJJP3326
2. 授業担当教員	青木 優子		
4. 授業形態	講義、演習、グループ討議等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	日本語学Ⅴ (談話) を受講していることが望ましい。		
7. 講義概要	日本語学Ⅴ で学んだことを踏まえ、日本語教育で文章・談話がどのように用いられているか考える。文章や談話の構造について接続表現、指示表現、比喩表現などについて学びながら、それらが日本語教育でどのように扱われているか調べていく。また、会話において接続表現や指示表現、提題表現などがどのように扱われているか理解する。		
8. 学習目標	1. 日本語の構造の中で、接続表現、指示表現、提題表現等がどのように扱われているか分析できる。 2. 会話において接続表現や指示表現、提題表現などがどのように扱われ、談話として取り入れられているか理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	レポート：授業で学んだ項目から一つ選び、その概要をまとめる。さらに、その項目を初級日本語学習者に教える際に注意すべき点について論じる。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】遠藤織枝 (編) 『そのまんなかの日本語：自然な会話で学ぶ』 ひつじ書房、2020		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語の構造の中で、接続表現、指示表現、提題表現等がどのように扱われているか分析できたか。 2. 会話において接続表現や指示表現、提題表現などがどのように扱われ、談話として取り入れられているか理解できたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 1 授業への参加態度・総合点の 30% 2 試験 (小テスト、期末テスト等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 上記の他に、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の修得の条件である。		
12. 受講生へのメッセージ	実際の談話を基に、これまで学習してきた語彙や文法がどのように扱われているかを学びます。文章と談話の違いを理解し、日本語教育に活かせる力を身につけましょう。		
13. オフィスアワー	授業内で知らせる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション、談話とは何か	事前学習	教科書の pp.X ~ XIV を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 2 回	丁寧体・普通体	事前学習	教科書の pp.1-8 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 3 回	強調表現・誇張表現	事前学習	教科書の pp.9-16 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 4 回	擬音語・擬態語	事前学習	教科書の pp.17-24 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 5 回	繰り返し	事前学習	教科書の pp.25-33 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 6 回	人の呼び方	事前学習	教科書の pp.35-41 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 7 回	若者ことば	事前学習	教科書の pp.43-50 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 8 回	発話の重なり	事前学習	教科書の pp.51-58 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 9 回	接続助詞で終わる文	事前学習	教科書の pp.59-66 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 10 回	方言	事前学習	教科書の pp.67-74 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 11 回	曖昧表現	事前学習	教科書の pp.75-82 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 12 回	あいづち	事前学習	教科書の pp.83-89 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 13 回	助詞の省略	事前学習	教科書の pp.91-97 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 14 回	倒置表現	事前学習	教科書の pp.99-106 を熟読しておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第 15 回	授業のまとめ	事前学習	学習項目を整理し質問事項を準備しておく。
		事後学習	期末テストに備えて復習をする。

期末試験